

④ なんで人間は、なみだができるのか調べよう。

・ 泣いたとき、かなしいとき、など、どうしてなみだができるの？

・ 人間は、泣いたときも悲しいときだけではなく、ほんの少しずつですが、いつもなみだを出しています。なみだの本当の役目は、目の玉の表面を、いつもきれいにそうじすること。なみだは目の表面についたゴミ、ばいきんを殺したりしている。また目の表面がかみかたないしている。



・ 1つも少しずつ流れていなければいけない。ところがなみだができるのは、それだけではありません。目の玉の上の外の外側に、なみだまっくろる涙腺（なみだせん）というもの

がある。この涙腺には、自律神経という神経がきついて、脳とつながっている。この神経に、脳から命令があると、なみだが出てくるのです。泣いたとき、かなしいときなみだができるのは脳から命令ということ。泣いたときになみだが出るわけは、ほかにも顔の筋肉がいつもとちがうのびちぢみをするために、涙腺がおされてなみだが出ることもある。

⑤ なんでなみだができるのかもになつていたから、調べられてよかった。

なみだができるわけは、いろいろあることが分かった。

